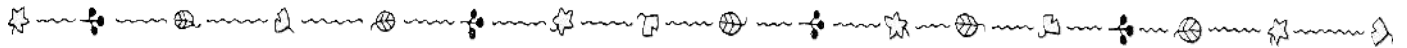


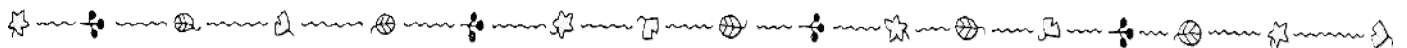
現在、北町西小学校の2年生・3年生では、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）に罹患したお子様が6名います。学校では、手洗い・うがいの他マスクの着用等で感染予防に努めています。

ご家庭におかれましては、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）にかかったことのないお子様や予防接種を受けていないお子様の場合など罹患する可能性がありますので、お気をつけください。

少しでもおたふくかぜ（流行性耳下腺炎）を疑うような症状（耳の下あたりの耳下腺の痛みや腫れ）がありましたら、早めに病院を受診されることをお勧め致します。



## <おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）について>



病原体 : ムンプスウイルス。

潜伏期間 : 14日～24日くらい。

感染経路 : 飛沫感染。

症状 : 耳下腺の腫脹が主症状です。初めに熱が少し出て頭が痛み、そのうちに耳下腺が腫れ、そのときに痛みがあります。  
その後、1週間くらいで腫れがひき、熱が下がり、痛みも消えて治ります。

罹患年齢 : 幼児期から小学校期に多いです。

治療方法 : このウイルスに有効な薬はなく、対症療法が中心です。

予防方法 : 感染を防ぐために、耳下腺の腫脹が消失するまで学校は休みます。その際「出席停止」になりますので、登校時には「登校届け」を持たせてください。  
また、希望すれば予防接種を受けられますので医師に相談してください。

